

MOA-7000不具合チェックシート(1/4)

トラブルシューティング201608

王子計測機器株式会社御中

(Tel 06-6487-1032/Fax 06-6489-1301)

e.mail: osi-sales@oji-gr.com

機種: MOA-7000シリーズ

製造番号: _____

ソフトウェアのVersion _____

不具合発生時期: 今日 昨日 年 月 頃から

装置の使用頻度: 毎日 週に数回 月に数回 必要に応じて

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

貴社名 _____

部署 _____

御担当 _____

御連絡先 Tel _____

Fax _____

e.mail _____

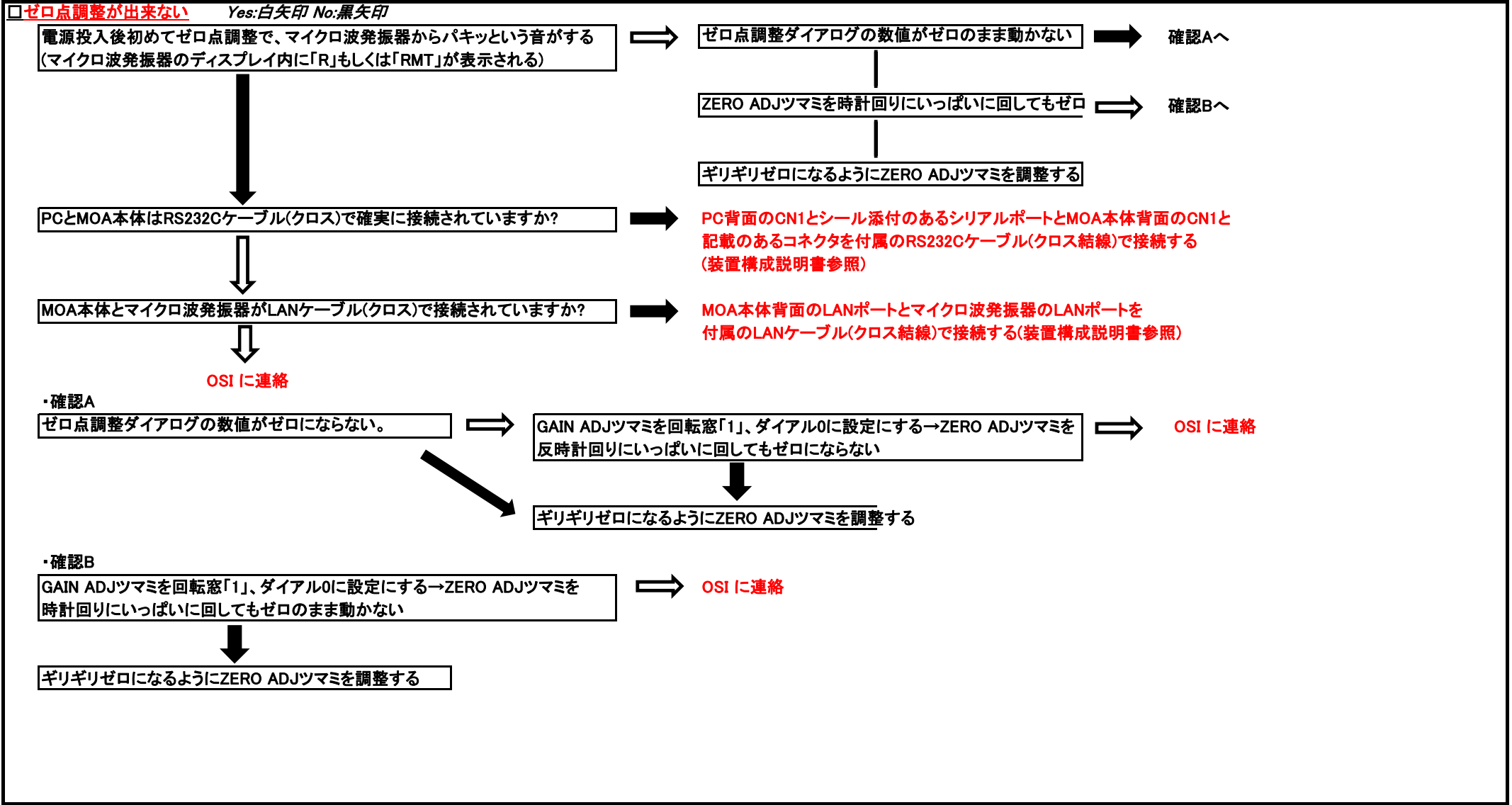
弊社の測定装置に不具合が発生し、誠に申し訳御座いません。

不具合解消のために、次の**不具合状況**から該当するものを選び、右側の**チェック項目**を確認して下さい。(該当しない**不具合状況**のチェックは**不要**です)

チェック項目の確認と必要事項への記載が済みましたら、このチェックシートの該当ページを弊社宛にFAXにてお送り下さい。

- ・装置が全く動作しない場合 : 1ページのみ
- ・ゼロ点調整が出来ない場合 : 1, 2ページ
- ・測定出来ないまたは遅い場合 : 1, 3ページ
- ・測定結果が異常な場合 : 1, 4ページ

不具合状況	チェック項目		
<input type="checkbox"/> 装置異常	AC100V電源は間違いなく供給されていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	電源コードを機器側とコンセント側で一度外して差し込みなおしても、電源が投入できませんか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	MOA本体の電源スイッチのランプは点灯しますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	マイクロ波発振器の電源投入後、ディスプレイにエラー表示はありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	パソコン(Windows)は正常に起動しますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	異常発生前に装置の移動を行いませんでしたか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	パソコンとMOA-7000本体は付属のRS232Cケーブルで接続されていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	MOA-7000本体とマイクロ波発振器は付属のLANケーブルで接続されていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	MOA-7000本体とマイクロ波発振器は付属のSMAケーブルで接続されていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ



□測定が出来ないまたは遅い Yes:白矢印 No:黒矢印

エラーダイアログが表示れていますか?



「COMポートをOpen出来ません。」



PC背面のCN1とシール添付のあるシリアルポートとMOA本体背面のCN1と記載のあるコネクタを付属のRS232Cケーブル(クロス結線)で接続する(装置構成説明書参照)

「初期化出来ませんでした。」



MOA本体背面のLANポートとマイクロ波発振器のLANポートを付属のLANケーブル(クロス結線)で接続する(装置構成説明書参照)

「測定出来ませんでした。」



マイクロ波を透過しないサンプルではありませんか?
GAIN ADJツマミを時計方向に回して、測定出来ないか再度測定テスト願います

「データを保存出来ませんでした。」



1.保存フォルダのアクセス権をご確認ください。
2.メディアがライトプロテクトされていませんか?

※上記の確認または対策をしても改善されない場合は弊社にご連絡ください。

MOR測定に時間がかかりすぎる(2分以上)



強配向測定を試してください



□測定結果異常 Yes:白矢印 No:黒矢印

MOR値異常



ゼロ点調整を実施→標準板STD1を測定して基準MOR値の8%以上異なる値が測定される



OSI に連絡



配向角異常



配向角パターンの図が、配向角方位を基準とした対象図形ではない



1. サンプル厚みが一定でない可能性があります
2. サンプル内の高誘電体が均一に存在していない可能性があります



配向角の方位が90度異なるもしくは配向角の正負が逆



1. サンプルホルダへのサンプルのセットアップか、挿入方法が間違っています
サンプルホルダ挿入方向が0度方位で、サンプルホルダの挿抜用の突起がある側を表とし、反時計方位にプラス、時計方位にマイナスで配向角を表示します。挿抜用突起を左面にしてMOA本体に挿入します。
2. 上記間違いないが90度方位が異なるように思われる場合
サンプルの素材がポリスチレンのような分子構造である場合、延伸軸と誘電率最大方位が異なります。